

臨床検査部  
臨床検査技師 (入職1年目)  
なごの きょうへい  
**柳野 恭平**



臨床検査技師を目指したきっかけは健康診断を受けたとき。病気を発見して早期治療することで、患者さんが重症化するのを防ぎ、命を救えることに魅力を感じたからです。

趣味は釣りです。釣りの道具を工夫したり、釣り方や場所を変えてみたりと、どうやったら釣ることができるのか、試行錯誤を重ねるところが釣りの面白さ! そして、実際にその方法で釣れた瞬間こそが釣りの醍醐味だと感じています。

薬剤部  
薬剤師 (入職1年目)  
おたか ひとみ  
**大高 瞳**



母が薬剤師をしていた影響で薬剤師を目指すようになりました。子どもの頃、風邪をひいたときに処方薬を飲むと楽になると感じたのもきっかけの一つです。患者さんに少しでも安心していただけるよう、気持ちに寄り添える薬剤師になりたいです。

休日は漫画や小説を読んだり、音楽を聴いたりして過ごしています。自分とは違う考え方や価値観に触れられるのが楽しくて、つい数時間没頭してしまうこともあります。

旬素材で 栄養管理室が発信!

**健康レシピ**

管理栄養士  
さこ じゅんこ  
**佐古 純子**



キャベツは、免疫力を高め、コラーゲンの生成に必要なビタミンCが豊富! 加熱するときは、熱に弱く、水に溶けやすい性質を考慮して、短時間での調理がおすすめです。煮込み料理やスープの場合は、汁ごと食べることで栄養素を無駄なく摂取することができますよ。

no. 15 春キャベツのスープ煮

- 材料 (2人分)
- A ・鶏ひき肉.....60g
  - ・酒.....小さじ1/2
  - ・ゴマ.....小さじ1弱
  - ・パン粉.....小さじ1
  - ・シウガ.....少々
  - ・ネギ.....10g
  - ・春キャベツ.....100g
  - ・水.....200ml
  - ・塩・コショウ.....少々
  - ・ゴマ油.....小さじ1/4
  - ・うま味調味料.....少々



作り方  
①ネギはみじん切り、シウガは粗みじん切りにする。②①とAをボールに入れて混ぜ、大きめの団子を作る。③春キャベツは半分に分けてから、2mm幅の千切りにする。④鍋に水を入れて沸騰させて、②を入れて蓋をする。弱火で15分程度煮る。⑤③を加えてサツと煮る。塩・コショウ、ゴマ油、うま味調味料で味を調えて完成!

ご感想・ご意見を募集しています

誌面に対するご感想やご意見、とりあげほしいテーマがありましたら、①氏名②住所③年齢④性別⑤ご感想などをご記入のうえ、下記宛先までお便りかメールでお送りください。

○個人情報の取り扱いについて  
個人情報は、今後の誌面づくりの参考のために使用し、使用後は編集部が責任をもって破棄いたします。



〒745-8522  
周南市孝田町1-1  
JCHO徳山中央病院 総務企画課 宛

編集後記

新緑が鮮やかな季節となりました! 5月に入ると急に日差しが強くなるようになり、日中は汗ばむほどの陽気に、夏が近いことを実感します。これからは感染対策とともに熱中症対策も必要になってきますので、こまめな水分補給を心がけましょう!(勝津)



JCHO徳山中央病院広報誌「Smile」 夏号 Vol.015 2021年5月27日発行 発行/JCHO徳山中央病院 direction & design/しろくまグラフィックス writing/小野理枝 photo/Photo Office MOTHER LEAF お問い合わせは...JCHO徳山中央病院 総務企画課 TEL: 0834-28-4411 E-mail: main@tokuyama.jcho.go.jp

Tokuyama Central Hospital  
**Smile** [スマイル]

地域のみなさと『JCHO徳山中央病院』をつなぐ  
コミュニケーションマガジン

ご自由にお持ち帰りください

vol. 015  
Summer. 2021

**病院長就任のご挨拶**

院長 沼 文隆

Hello! 部署訪問 P3

**西館6階病棟**

認定・専門看護師 P4

感染管理認定看護師  
**松崎 さとみ**

<Pick up!> P5-6

在宅復帰を目指して多職種がサポート!

JCHO徳山中央病院附属  
**介護老人保健施設**

よろず相談室 P6

表紙のはなし: フレッシュスマイル! P7

臨床検査技師 **柳野 恭平** 薬剤部 **大高 瞳**

旬食材で健康レシピ P7

**春キャベツのスープ煮**  
管理栄養士 **佐古 純子**



# 病院長就任のご挨拶

## 沼 文隆

独立行政法人地域医療機能推進機構  
徳山中央病院 院長



令和3年4月1日より前任の那須誉人病院長を継いで、JCHO徳山中央病院の病院長を拝命しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず最初に新型コロナウイルス禍中、感染症治療の最前線で日夜診療に当たっておられる医療従事者の方たちに感謝申し上げます。当院も感染症指定医療機関として昨年より職員一同全力で取り組んでおりますが、特に治療最前線で自らも感染のリスクに晒されながらも、当然のごとく日々診療に従事しているその強い責任感や使命感には敬服するとともに誇りにも思います。また、こうした現状に理解を示してくださった多くの方から心温まるご支援ご声援を頂き、誠に有難く感謝申し

上げます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は昭和56年に山口大学医学部を卒業し、大学院終了後、産婦人科の4つの領域(生殖内分泌学、周産期・新生児医学、婦人科腫瘍学、女性医学)の中でも特に婦人科腫瘍学を中心に研究、診療に携わってきました。平成15年に当院の前身である社会保険病院に主任部長として着任してからは、第一線の臨床医として婦人科腫瘍に軸足を置きながらも産婦人科全般の診療に従事し、患者さんにとって最善の治療が提供できるように努力してきました。平成26年4月に地域医療機能推進機構(JCHO)に移行してからは、井上裕二院長のもとで院長補佐、平成29年4月からは那須誉人院長のもとで副院長

として病院の運営に携わってきました。

当院は昭和21年に旧海軍第3燃料廠付属の病院を基に社会保険病院として設立されて以来、今日のJCHO徳山中央病院に至るまで、周南医療圏の中核病院の役割を担ってまいりました。戦後の混乱期の苦難をはじめとして幾多の試練を乗り越え、本年で75周年を迎えます。これも多くの先達の努力はもとより、国・県・市行政ならびに地域住民の皆様方、山口大学医学部、医師会等関係機関、その他多くの方々の御理解と御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

現在、当院は地域医療支援病院、救命救急センター、災害医療センター、地域周産期母子医療センター、小児救急医療

拠点病院、へき地医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院として5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)5事業(救急医療、災害時における医療、へき地医療、周産期医療及び小児医療)に取り組んでおります。今後も新型コロナウイルスとの闘いが続く中、最大限の感染予防策を講じつつ、救急医療・専門医療が後退することのないように職員一丸となって努力してまいります。まさにJCHOの理念「地域の皆様、行政、関係機関と連携し、医療を通じて地域へ貢献」に沿って全力を尽くしたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 西館6階 病棟

### 部署データ>>

- ✓ 血液・内分泌内科 医師 ……4名
- ✓ 放射線科 医師 ……4名
- ✓ 消化器内科 医師 ……9名
- ✓ 看護師 ……27名
- ✓ 看護補助者 ……2名



### 患者さんの最善を

### チームで支援します!

西館6階病棟は、血液・内分泌内科、放射線科、消化器内科の混合病棟です。入院患者さんの割合は、血液・内分泌内科47%、消化器内科32%、放射線科16%、その他の診療科が5%です。内科系の疾患は、経過が長く、入院を繰り返しながら治療に臨まれる患者さんが多く、急性期から終末期まで幅広い治療・看護を行っています。特に、がん化学療法、放射線療法を受けられる患者さんが多いため、安心・安全に治療・療養していただけるようにチーム一丸となって患者さんを支援しています。日々のカンファレンスでは、看護師だけでなく、医師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーの多職種が情報を共有し、それぞれの専門性を発揮して患者さんに最善の治療・看護が提供できるように努めています。また、外来とも連携をとりながら、退院後も安心して通院していただけるよう取り組んでいます。

患者さんやそのご家族は、病気や治療、退院後の生活についてさまざまな思いや不安、苦痛を抱えておられます。それらをしっかりと受け止めて、不安や苦痛が少しでも軽減できるよう、またその人らしく前向きに療養生活を送ることがで

安心して治療に専念してもらえ  
るように、多職種と連携して  
動いています!

まつだ いよ  
看護師 松田 伊代

きるように支えていくことが、患者さんの一番近くにいる私たち看護師の役割であると考えています。私たちはその役割を果たすために、患者さんやご家族がいつでも気軽に相談できるような気を配り、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、支援していきます。



一日も早く退院できるようにスタッフ一同  
看護に力を入れています!

ふじむら ともこ  
看護師 藤村 知子

## 認定看護師

### Certified Nurse

徳山中央病院では、現在14名の認定看護師が活動しています。  
今回は、感染管理を専門とする認定看護師をご紹介します。

### 認定看護師 って?

特定の専門分野における看護のスペシャリストです。看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格した者のこと。合格後は、5年ごとに更新審査が行われます。

### 感染管理認定看護師

まつ さき  
松崎 さとみ



### Q 医療関連感染とは?

A 医療関連感染とは、医療機関で患者さんが本来の疾患とは別の感染症に罹患することで、以前は院内感染とも呼ばれていました。医療関連感染の中には、手術や点滴などの医療・看護処置による感染や、耐性菌やインフルエンザウイルスによる感染症などがあり、病院の職員が罹患するものも含まれます。患者さんにとっては発熱などの新たな症状が出現したり、治療のために入院が長引いたりするなど、苦痛を伴うことになります。また、職員が罹患すると業務を続けられなくなり、マンパワーの不足が起きてまいります。

### Q 感染管理認定看護師の役割は?

A 感染管理認定看護師の役割は、患者さんや家族、医療従事者、来訪者、その他病院に関わるすべての人々を感染から守ることです。私は、感染防止対策室の専従看護師として、職員から感染対策について相談を受ける機会が多いのですが、みなさんに感染対策を正しく理解し実践していただけるよう、専門的な根拠を基に対応することを心がけています。また、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師からなる院内感染対策チーム(ICT)の活動では、多職種による専門的知識を活かして、院内の感染症情報や抗菌薬使用状況の情報共有を行い、院内ラウンドで感染対策状況の監視、指導を行っています。

### Q コロナ禍において 特に重視していることは?

A 当院は、第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の患者さんの受け入れを行っています。これまでは定期的に新型インフルエンザの患者さんの受け入れ訓練を行ってききましたが、今回のように長期的に患者さんを受け入れることになるとは当時は想像していませんでした。感染症病棟に関わるスタッフが安全に働くことができるように、清潔不潔のゾーニングや個人防護具の着脱方法、廃棄物やリネンの処理など、感染防止対策指導や環境整備を重点的にを行っています。

地域でも感染管理認定看護師の活動が認知されはじめ、医療機関や介護施設などから感染対策に関する相談やラウンド・研修会の依頼が増えました。当院には感染管理認定看護師が3人在籍しているため、今後も協力し合いながら対応していきたいと思っています。



### 松崎看護師のFavorite!

チワワを2匹飼っています。名前はチョコ太くんとモカちゃん。朝晩の散歩は欠かしたことがありません。これからは愛犬と一緒に楽しく暮らしていきたいです!



Pick up!  
ピックアップ!

在宅復帰を目指して多職種がサポート！

# “JCHO 徳山中央病院附属 介護老人保健施設”

周南市で最初の老人保健施設として平成7年に開設された徳山中央病院附属 介護老人保健施設。施設の役割やサービス内容、お仕事をされる上で大切にされていることなど、専任スタッフのみなさんにお伺いしました！



支援相談員  
柳村 勇気

看護師長  
沓野 真理子

支援相談員  
須山 智子

りも可能です。

柳村 大きな特徴は、理学療法士や作業療法士といった専門スタッフによるリハビリが受けられること。一人ひとりの課題や目標に合わせたリハビリメニューを提供しています。機能訓練室の設備も充実しています。

沓野 医師や看護師が常駐しているため、普段の体調管理はもちろん、急変時にも対応できます。介護福祉士は生活全般の介助やレクリエーションの実施、管理栄養士は栄養管理、支援相談員は入所や退所などの連絡、調整を行っています。このように、さまざまな職種のスタッフが連携して、在宅復帰に向けてしっかりとサポートしています。

柳村 よく地域の方から耳にするのが、どこにあるのか場所が分からないという声です。当施設は、徳中の東館の玄関に入ってすぐの所にあります。1階は機能訓練室と浴場、2階～3階は療養棟となっています。食事をするホールやお風呂は共用で、明るくアットホームな雰囲気大切にしています。

——仕事をする上で大切にしていることは？

柳村 みなさん何かしらお困りごとや不安を抱えて来られているので、何にお困りなのか、どうすれば問題を解決できるのか、まずは相手の声を聞くことを大切にしています。

沓野 例えば「体調を崩しがちで困っている」という場合には、お薬がきちんと飲めないからなのか、うまく食事がとれないからなのかなど、何が原因なのかを引き出すようにしています。

須山 多職種スタッフと一緒にご自宅を訪問して、これまでの生活や環境を確認するのも私たちの仕事です。環境に合わせてリハビリを組み立てたり、福祉用具をご案内したり、どうすればご自宅に帰れるのかを一緒に考えていきます。

柳村 ご高齢の方にとってはベッドから車椅子、ホールやトイレへの移動など、日常の全ての動きがリハビリにつながるので、できる限りご自身で行っていただくように援助しています。

沓野 栄養バランスのとれた食事や規則正しい生活も重要です。ご高齢になると表情が硬くなりがちなので、体操やレクリエーションを通じてできるだけ笑うことを意識して、心身共に健康な状態を維持できるようにサポートしています。

須山 ご家族とのコミュニケーションも欠かせません。3カ月ごとに面談を行い、今後の方向性について話し合います。面談では、リハビリスタッフはリハビリの状況、管理栄養士は食事、看護師は体調管理、ケアマネジャーは生活全般、支援相談員は今後の生活について、順番にお話をします。

沓野 在宅復帰を目的としているため、数カ月で退所を余儀なくされると思われがちですが、次の受け入れ先に空きがない場合

は継続してご利用いただけるのでご安心ください。

——最後に地域のみなさんへメッセージをお願いします。

須山 徳中に介護老人保健施設があること自体を知らない方もいらっしゃると思うので、この誌面を通じてぜひ多くの方に知っていただきたいですね。

柳村 今はコロナ禍で面会が難しい状況なので、オンライン面会を実施しています。様子を見たり、話をしたりすることで、ご家族やご本人に少しでも安心していただけたらと思います。

全員 介護についての悩みや不安など、どんな些細なことでも遠慮なくご相談ください！



1階の機能訓練室にはトレニングマシンが充実！理学療法士や作業療法士による専門的なリハビリテーションを提供しています



広々とした大浴場。車椅子のまま入れるリフト浴、寝たまの姿勢で入れるミスト浴など、安心・安全で快適な入浴をサポート！



主任作業療法士  
リンパ浮腫セラピスト  
鈴木 健朗

## リハビリのスペシャリスト！ 作業療法士さんをさらに Pick up! ピックアップ!

——仕事内容ややりがいを教えてください！

利用者さんやそのご家族の生活上のお困りごと、ご本人がやりたいことをできるように支援するのが私たちの仕事です。大切なのは、「歩けるようになりたい」の先にある「旅行に行ってみたい」「趣味活動を再開したい」など、その方の生き方に直結する想いや生きる意欲をいかに引き出すか。そのため、「こうしてください」とこちらが主導権を握るのではなく、その



県内でも数少ないリンパドレナージュを提供

方が自ら考えて動けるように、あくまでも黒子に徹することを心掛けています。突然の病気やケガは防ぎようがありません。でも、そこから新しい人生のはじまりです。不安を抱えているご本人やご家族の緊張をほぐしながら、心身の両面からしっかりと支えていきたいと思っています。

JCHO徳山中央病院附属 介護老人保健施設

0834-28-8686

JCHO  
徳山中央病院  
東館1～3階

●サービス内容/入所サービス、短期入所サービス、通所リハビリテーション(デイケア)、訪問リハビリテーション ●入所定員/100名 ●通所定員/30名/1日



——そもそも介護老人保健施設とは、どんな施設ですか？

沓野 もう入院の必要はないけれど、自宅での生活に戻るのはまだ不安…といった方に対して、医療ケアや介護、リハビリなどのサービスを提供する、いわば病院とご家庭との橋渡しをする施設です。当施設では、一定の期間療養できる入所サービスのほか、リハビリや食事、入浴などの日帰りサービスを受けられる通所リハビリテーション(デイケア)などを提供しています。

須山 長い間入院されていた方が退院後、在宅復帰されるまでの間に利用されるケースが多いです。普段ご自宅で介護をされているご家族が病気やケガ、冠婚葬祭などで不在になる場合、あるいは休養がほしいときなどは、ショートステイもご利用いただけます。また、専門スタッフがご自宅を訪問し、日常生活に必要なリハビリを提供する訪問リハビリテーションも行っています。

沓野 入所されたご本人やご家族が希望される場合は、お看取

## 医療のギモンにお答え！ よろず相談室

問、「回復期リハビリ」ってなに？

答、回復期リハビリとは、脳血管疾患や大腿骨骨折後など、制度上定められた対象疾患の診断を受けた方に、集中的なリハビリテーションを提供することで、患者さんが元々持たれていた能力の獲得を目指すものです。主に、急性期病棟での治療安定後、回復期リハビリ専門の病棟に移ってから行います。また、リハビリテーションと平行して、退院のための環境調整も行います。

## 地域連携・相談室は、

地域みなさまと当院をつなぐ地域医療の窓口です。

退院・転院支援や、活用できる社会制度の情報提供、患者さんやご家族の心配事など、誰に相談していいかわからなくて困っていませんか？どんなことでもかまいません。まずはお気軽にご相談ください。



西館1階に  
あります。